



第2章スタート！

40日余りの夏休みが終わり、学校に子どもたちの声が戻ってきました。まだまだ暑い日が続きますが、たくさん子どもたちが休み時間には運動場で体を動かしています。長い休みでしか経験できなかったことを経験した後は、学校でしか経験できないことをたくさん経験して、成長につなげてほしいと思います。2学期もよろしくお願いいたします。

～始業式の話より～

2学期の始業式は、暑さ対策のため ZOOM を使い、各教室で行いました。今年は力合西小創立10年目ということで、大きな節目を迎えること、この節目で子どもたちの大きな成長を期待することを中心に話しました。2学期の合言葉は、学校の名前の通り「(力)を合わせる」「(心)をそろえる」としました。話の時に引用したのが右の詩です。

この詩の作者は、曹洞宗のお坊さんで藤本幸邦（ふじもと こうほう）さんです。藤本さんは戦後に孤児となった子どもや、親とはぐれてしまった子どもたちを引き取り、お寺で育てていました。その時に禅宗の教えを子どもたちにわかりやすく伝えるために作ったのがこの詩です。

もともとの禅宗の教えは「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」とあって、「他に向かって悟りを追求せず、まず自分の本性をよく見つめよ」という自分を戒める言葉です。これが転じて「他に向かって理屈を言う前に、まず自分の足元を見て自分のことをよく反省すべきこと」と用いられるようになりました。子どもたちにわかりやすい詩だと思って紹介したところですが、この詩ができた背景を知ること、私も自分の足元を見直す機会となりました。今は校内のトイレに掲示しています。

はきもの
はきものを そろえると 心もそろろう
心がそろうと はきものも そろう
ぬぐ時に そろえておくと
はく時に 心がみだれない
だれかが みだしておいたら
だまっ そろえておいてあげよう
そうすれば きつと 世界中の人の心も
そろうでしょう



3.4年生プレハブ校舎
のスリッパです



5.6年生児童昇降口の
靴箱です

夏休みの最後の土曜日26日に、PTAの愛校作業が行われました。暑い中にも関わらず、本当にたくさん保護者の皆様、子どもたちに協力していただきました。また、運営委員の皆様を中心に、学校閉庁日の花の水やりにもご協力いただいています。おかげで植えこみや運動場はきれいになり、花々も元気に育っています。みんなで力を合わせ、心をそろえることができた素晴らしい時間でした。本当にありがとうございました。